

2026 年度



学生募集要項

人間科学研究科
理学研究科

博士前期課程

一般入学試験

社会人対象入学試験
<人間科学研究科のみ>

【入学試験に関する問い合わせ先】

東京女子大学 入学課 大学院入試係
〒167-8585 東京都杉並区善福寺 2-6-1
TEL 03-5382-6854 FAX 03-5382-6474
E-mail admission@gr.twcu.ac.jp
(土日祝日および下記休業日を除く 9:00~17:00)

<事務室休業日>

夏 期：2025年8月7日(木)～8月20日(水)

年 末 年 始：2025年12月25日(木)～2026年1月4日(日)

※本要項に記載されている日時は、全て日本時間で示しています。

目次

ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)、カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)、アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)…………… 1

I. 一般入学試験

1. 募集人員……………	4
2. 標準修業年限……………	4
3. 出願資格……………	4
4. 出願条件……………	5
5. 出願資格審査……………	5
6. 入学試験日程……………	6
7. 選考方法・試験科目・時間割……………	7
8. 出願方法……………	10
9. 出願書類……………	11
10. 外国人留学生の追加提出書類……………	16
11. 入学検定料の納入……………	16

II. 社会人対象入学試験<人間科学研究科>

1. 募集人員……………	17
2. 標準修業年限……………	17
3. 出願資格……………	17
4. 出願条件……………	18
5. 出願資格審査……………	19
6. 入学試験日程……………	19
7. 選考方法・試験科目・時間割……………	20
8. 出願方法……………	22
9. 出願書類……………	23
10. 入学検定料の納入……………	26

III. 一般入学試験・社会人対象入学試験 共通事項

1. 受験票の交付……………	27
2. 試験場……………	27
3. 受験上の注意……………	27
4. 合格者発表……………	29
5. 入学手続……………	29
6. 入学試験成績の開示……………	31
7. 入学を辞退する場合……………	31
8. 入学者「誓約」……………	31
9. 奨学金……………	32
10. 長期履修制度……………	33
入学検定料支払方法……………	34
アクセスマップ……………	36

感染症および不測の事態に関する注意事項

- 試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患し治癒していない者は、他の受験生や監督者等への感染の恐れがありますので、原則として受験をご遠慮ください。ただし、病状により学校医その他の医師において伝染の恐れがないと認められた時はこの限りではありません。
なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、入学検定料の返還はいたしません。
- 不測の事態により、学生募集要項に記載されている実施内容(出願期間・試験日程・試験内容・合格者発表日等)に変更を加える場合には本学公式サイト(<https://www.twcu.ac.jp/>)に掲載するとともに、出願後は、出願者本人へ通知します。
ただし、このことに伴う出願者の個人的損害については、原則として本学は責任を負いません。

個人情報の取り扱いについて

出願および入学手続にあたってお知らせいただいた氏名、住所、その他の個人情報は、入学試験実施(出願処理・試験実施)、合格者発表、入学手続、入試統計調査、東京女子大学国際交流奨学金申請手続およびこれらに付随する事項を行うために利用します。

ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

東京女子大学大学院は、建学の精神であるキリスト教の精神に基づく学問研究および教育の機関として、研究者にふさわしい人格を陶冶し、教養を備えた高度な専門的職業人を育成するために、以下の能力を身につけ、かつ、学則に定める所定の単位を修得し、修士論文を提出してその審査および最終試験に合格した学生に、学位（修士）を授与します。

【人間科学研究科人間文化科学専攻 博士前期課程】

1. 自らの専攻分野に関する方法論と専門知識を身につけ、さらに学際的視点からの研究を可能にするため、他分野の方法論と専門知識を一定程度身につけている。
2. 人文科学の専門知識を自立的に運用するための資料読解力・精査力および問題分析力を身につけている。
3. 研究成果を国内外に発信する表現力と建設的な議論を行うことができるコミュニケーション能力を身につけている。
4. 高度な専門的職業人あるいは独創性のある研究者として社会に貢献することを目指して、主体的に学び続け、自己を確立し、自らのキャリアを構築する能力を身につけている。

【人間科学研究科人間社会科学専攻 博士前期課程】

1. 自らの専攻分野に関する方法論と専門知識を身につけ、さらに学際的視点からの研究を可能にするため、他分野の方法論と専門知識を一定程度身につけている。
2. 人間科学や社会科学の専門知識を自立的に運用するための調査研究能力および問題分析力を身につけている。
3. 研究成果を国内外に発信する表現力と建設的な議論を行うことができるコミュニケーション能力を身につけている。
4. 高度な専門的職業人あるいは独創性のある研究者として社会に貢献することを目指して、主体的に学び続け、自己を確立し、自らのキャリアを構築する能力を身につけている。

【理学研究科数理科学専攻 博士前期課程】

1. 自らの専攻分野に関する方法論と専門知識を身につけ、さらに学際的視点からの研究を可能にするため、他分野の方法論と専門知識を一定程度身につけている。
2. 数理科学の専門知識を自立的に運用するための能力および問題分析力を身につけている。
3. 研究成果を国内外に発信する表現力と建設的な議論を行うことができるコミュニケーション能力を身につけている。
4. 高度な専門的職業人あるいは独創性のある研究者として社会に貢献することを目指して、主体的に学び続け、自己を確立し、自らのキャリアを構築する能力を身につけている。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

東京女子大学大学院はディプロマ・ポリシーに掲げる能力を身につけた「教養を備えた高度な専門的職業人」を育成するために、以下の方針に基づく教育を行います。

【人間科学研究科 博士前期課程】

＜教育課程の編成＞

1. 広い学問的視野と柔軟な学問的姿勢を獲得し、各研究分野に共通する研究能力を育成するために、専攻共通科目を編成する。
2. 各分野の研究方法に習熟し、専門性を深化させるために、研究分野科目（コースワーク）を編成する。
3. 科目の体系的および順次性を確保するために、研究分野科目に基礎科目と専門科目を設置する。
4. 専門的研究能力を向上させ、学位論文作成を可能にするために、専攻共通の専門科目として「論文指導演習」（リサーチワーク）を設置する。
5. 深い教養を備えるとともに、学際的な研究を可能にするために、他専攻の科目を履修することができるカリキュラムを編成する。

＜教育内容・方法＞

6. 学生が自主的・主体的な研究能力を身につけるために、参加型の少人数の演習形式の授業、事前に与えられた課題に取り組むことを前提とした反転授業を実施する。
7. 柔軟で開かれた知見を獲得させるために、副指導教員制を設定する。
8. 適切な指導を行うために教育成果の段階的測定、それに基づく客観的評価を行う。
9. 学位論文指導を計画に沿って実施するために、学生と教員および教員間で論文作成および論文指導に関する計画を共有する。

＜学修成果の評価＞

10. 博士前期課程の集大成としての修士論文を必修とし、ディプロマ・ポリシーで掲げた能力を身につけられたか評価するために、複数の評価者による論文審査および最終試験を実施する。

【理学研究科 博士前期課程】

＜教育課程の編成＞

1. 科目の体系的および順次性を確保するために、専門科目（コースワーク）に講義と講究を設置する。
2. 専門的研究能力を向上させ、学位論文作成を可能にするために、「論文指導演習」（リサーチワーク）を設置する。
3. コースワークに関しては、数理科学のさまざまな問題に柔軟に対応できるような思考力と分析力を育成し、数理科学に対する広い視野を身につけさせるため、「理論数学」と「応用数学」の2研究分野に編成する。専門的な方法論と知識を体系的に学ばせるため、それぞれの研究分野を3つの小領域に分けて授業科目を設置する。
4. リサーチワークに関しては、自発的な学修を促し、独自の課題発見能力と問題解決能力を養成する。

＜教育内容・方法＞

5. 研究に対する視野を広げ、数理科学のさまざまな問題についての理解を深めさせるために、専門科目の講義においては理論と応用の交流を強調する。
6. それぞれにおける基本的知識・方法を体系的かつ効果的に修得させると同時に、問題への異なるアプローチに触れさせるために、複数小領域の学修を促す。
7. 2年間の数理学講究において、専門領域に対する研究を深め発表能力を高めるために、学生と意見を交換しつつ首尾一貫した指導を行う。
8. 広い視野と豊かな見識を養うために、一人の学生に対して指導教員と副指導教員をおく。
9. 適切な研究指導を行うために、複数の指導教員により、教育成果の段階的かつ客観的測定を行う。
10. 学位論文指導を計画に沿って実施するために、学生と教員および教員間で論文作成および論文指導に関する計画を共有する。

＜学修成果の評価＞

11. 博士前期課程の集大成としての修士論文を必修とし、ディプロマ・ポリシーで掲げた能力を身につけられたか評価するために、博士前期課程担当教員全員による論文審査および最終試験を実施する。

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

東京女子大学大学院は、建学の精神であるキリスト教の精神に基づく学問研究および教育の機関として、人間科学研究科と理学研究科を設置しています。入学までに修得した学術教養に基づき、専門分野の研究を深め、かつ、人類の文化と社会に貢献しうるにたる人格と教養を備えた高度な専門的職業人の育成を目的としています。

本大学院は、上記の建学の精神および教育目的に共感し、専門分野の基礎的知識と積極的なコミュニケーション能力を備え、研究と問題分析を主体的に行う高い意欲を持つ学生を広く求めます。

入学選考は、筆答試験・口述試験および研究計画書・学位論文等出願書類の総合判定により行います。本大学院が定めるディプロマ・ポリシーに掲げる能力を身につけることができる学力・適性や意欲を多角的に評価し判定します。

【人間科学研究科人間文化科学専攻 博士前期課程】

本専攻の特色は、人間の営みと知の所産であるさまざまな文化の諸相を解明する点にあります。人文科学の諸分野に関する資料読解力と問題分析力を備えた研究者および専門的職業人の育成を目指しています。人文科学の基本的な方法論と知識を身につけ、本専攻の目的を理解したうえで、以下のような意欲を持つ人を求めます。

1. 学部で学修した人文科学の諸分野に強い興味を持ち、さらに専門的に深く学びたい人
2. 宗教・国語・外国語（英語）・社会・地理歴史・公民の中学校・高等学校教諭専修免許状を取得し、高い専門性を持った教員となることを志望する人
3. 人文科学の諸分野の研究を通じて、社会に貢献したいという熱意のある人

【人間科学研究科人間社会科学専攻 博士前期課程】

本専攻の特色は、現代社会の人間が直面しているさまざまな問題に対して、人間科学や社会科学の知識・方法論を用いて研究する点にあります。事実に基づき科学的に解決策を提案し、研究成果を国内外に発信する研究者および本専攻で獲得した知識や方法を用いて社会に貢献する専門的職業人の育成を目指しています。研究対象とする分野について基礎的な知識を身につけ、本専攻の目的を理解したうえで、以下のような意欲を持つ人を求めます。

1. 主体的に学び、自らの専攻分野の専門知識と方法論を深めようとする人
2. 学際的な視点を獲得するために、周辺領域に対しても知的関心を持つ人
3. 人間科学や社会科学の専門性を活かして国内外で活動し、社会に貢献したいという熱意のある人

【理学研究科数理科学専攻 博士前期課程】

数理科学とは、さまざまな現象に秘められた数理的な構造の発見と分析を通じて、その現象の本質を解明する学問です。本専攻の特色は、数理科学において、分析に必要な「専門性」と同時に、発見に必要な「幅広い視野」を重視する点にあります。専門性と幅広い視野を持ち、数理科学的諸問題に対して柔軟に対応できる論理的思考力と分析力を備えた研究者および専門的職業人の育成を目指しています。数理科学分野の基礎としての数学に関する基本的な知識を身につけ、本専攻の目的を理解したうえで、以下のような意欲を持つ人を求めます。

1. 学部で学修した数学や数理科学諸分野に強い興味を持ち、さらに専門的に深く学びたい人
2. 数学の中学校・高等学校教諭専修免許状を取得し、高い専門性を持った教員となることを志望する人
3. 数学や数理科学を通じて、社会に貢献したいという熱意のある人

Ⅰ. 一般入学試験

1. 募集人員

研究科	専攻	研究分野	研究細目	募集人員
人間科学研究科	人間文化科学専攻	哲学・思想文化分野	哲学、倫理学・社会哲学、美学・芸術学	3名
		日本文学文化分野	日本語史、日本古典文学文化、日本近現代文学文化	6名
		英語文学文化分野	英語学、英米文学	6名
		歴史文化分野	日本、東アジア、ヨーロッパ	4名
		現代日本語・日本語教育分野	日本語教育学	3名
	人間社会科学専攻	臨床心理学分野	臨床心理学	7名
		心理・コミュニケーション科学分野	心理科学、コミュニケーション科学	5名
グローバル共生社会分野		グローバル社会、地域共生・平和共生、共生経済、共生社会、グローバルジェンダー	8名	
理学研究科	数理科学専攻	-	代数学、幾何学、解析学、確率統計、理論物理学、理論化学、情報科学、応用数学	6名

注 1) 募集人員には学内推薦、社会人対象入学試験（人間科学研究科のみ）、外国人留学生入学試験および上海外国語大学日本文化経済学院とのダブル・ディグリー・プログラムによる者各若干名を含みます。

2) 入学後、研究分野の変更はできません。

2. 標準修業年限 2年

3. 出願資格

次のいずれかに該当する女子とする。

- (1) 大学を卒業した者および2026年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構より学士の学位を取得した者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 日本国内において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより当該課程を修了することおよび当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者および2026年3月31日までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および2026年3月31日までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2026年3月31日までに22歳に達する者

<受験および修学上の合理的配慮について>

障がいや疾病等により、何らかの合理的配慮を希望する者は、出願期間開始の1か月前までに入学課大学院入試係へお問い合わせください。

また、出願後に不慮の事故等により、同様に合理的配慮を希望する場合にも、直ちに入学課大学院入試係へ申し出てください。

入学後の修学に関する支援（合理的配慮）については、入学手続完了後、学生生活課に所定の支援申請手続が必要です。申請手続後に支援内容について改めて検討します。

4. 出願条件

日本語を母語としない者で、日本以外の国の大学を卒業または卒業見込の者は、独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験（2024年11月～2025年6月実施分）の日本語を受験し「読解」「聴解・聴読解」「記述」の合計300点以上を取得していること^{注1}。

あるいは公益財団法人日本国際教育支援協会と独立行政法人国際交流基金が主催する日本語能力試験（N1）を過去に（一般入試（9月期）：2024年12月実施まで、一般入試（1月期）：2025年7月実施まで）受験し合格していること。

注1. 複数回受験した場合は、成績の利用を希望する受験回（1回分）を選択すること。

【日本留学試験 問合せ先】 <https://www.jasso.go.jp/ryugaku/eju/>
独立行政法人日本学生支援機構 留学生事業部 留学試験課 Tel 03-6407-7457

【日本語能力試験 問合せ先】 <https://www.jlpt.jp/>
公益財団法人日本国際教育支援協会 日本語能力試験（日本国内）受付センター Tel 03-6686-2974

5. 出願資格審査

出願資格（8）（9）で出願を希望する場合は、出願前に出願資格審査を行います。提出書類については入学課大学院入試係へ事前にお問い合わせください。出願資格審査で認定された者のみ、出願できます。

[出願資格審査受付期間]

9月期 2025年6月27日（金）～7月3日（木）必着
出願資格審査の結果は、7月中旬頃に本人宛に通知します。

1月期 2025年10月3日（金）～10月9日（木）必着
出願資格審査の結果は、11月上旬までに本人宛に通知します。

封筒に「大学院博士前期課程 出願資格審査書類在中」と明記の上、東京女子大学入学課大学院入試係宛に速達・簡易書留で郵送してください。本学窓口では受け付けません。

6. 入学試験日程

9 月期

研究科	専攻	募集する研究分野	出願期間	試験日		合格者 発表日	入学手続	
				筆答 試験	口述 試験		入学申込金 納入期限	その他入学 手続時納入 金納入期限
人間科学研究科	人間文化科学専攻	哲学・思想文化分野	7/30(水)~8/4(月) 締切日必着 日本国外から郵送する 場合も 8/4(月)必着	9/10(水)		9/19(金) 13 時	9/26(金)	2026 年 2/20(金)
	人間社会科学専攻	臨床心理学分野		一次 9/10(水)	二次 9/11(木)			
	心理・コミュニケーション 科学分野 ^{注1} グローバル共生社会分野	9/10(水)						
理学研究科	数理科学専攻	-		9/10(水)				

試験は本学キャンパスで実施します。

1 月期

研究科	専攻	募集する研究分野	出願期間	試験日		合格者 発表日	入学手続	
				筆答 試験	口述 試験		入学申込金 納入期限	その他入学 手続時納入 金納入期限
人間科学研究科	人間文化科学専攻	哲学・思想文化分野 歴史文化分野 現代日本語・日本語教育 分野	11/10(月)~11/14(金) 締切日必着 日本国外から郵送する 場合も 11/14(金)必着	2026 年 1/21(水)		2026 年 1/30(金) 10 時	2026 年 2/6(金)	2026 年 2/20(金)
		日本文学文化分野 英語文学文化分野		1/21(水)				
	人間社会科学専攻	心理・コミュニケーション 科学分野 ^{注1}						
	人間社会科学専攻	グローバル共生社会分野						
理学研究科	数理科学専攻	-		1/21(水)				

試験は本学キャンパスで実施します。

注 1：心理・コミュニケーション科学分野に出願する方は、入学後のミスマッチを防ぐために、出願までに入学課を通じて希望する指導教員に連絡を取り、ご自身が考えている研究内容などを十分に相談してください（必須）。相談には教員との日程調整が必要なため、出願までに余裕をもって入学課大学院入試係に連絡してください。

7. 選考方法・試験科目・時間割

(1) 9月期

人間科学研究科 人間文化科学専攻（哲学・思想文化分野）

選考は、筆答試験（専門科目・外国語）・口述試験・出願書類の総合判定により行います。

試験日	2025年9月10日（水）		
試験科目	筆答試験		口述試験
	専門科目	外国語	
試験時間	9：00～11：00	11：30～12：30	13：30～
哲学・思想文化分野	哲学一般共通問題および選択問題	英語・ドイツ語・フランス語のうちから1言語を選択 辞書1冊使用可 （電子辞書は使用不可）	特記事項なし

人間科学研究科 人間社会科学専攻（臨床心理学分野）

選考は、第一次試験（筆答試験：専門科目・外国語）、第二次試験（口述試験）および出願書類の総合判定により行います。第二次試験は第一次試験に合格した者のみ受けることができます。

試験日	2025年9月10日（水）第一次試験		9月11日（木） 第二次試験
試験科目	筆答試験		口述試験
	専門科目	外国語	
試験時間	9：00～11：00	11：30～12：30	9：30～
臨床心理学分野	特記事項なし	英語 辞書1冊使用可 （電子辞書は使用不可）	特記事項なし

第一次試験の選考結果は、2025年9月10日（水）20時までに本学公式サイトに掲載します。

第一次試験結果発表ページ <https://www.twcu.ac.jp/admission/>

最終合格者は第二次試験受験者の中から第一次試験、第二次試験の結果および出願書類を総合して判定します。

人間科学研究科 人間社会科学専攻（心理・コミュニケーション科学分野、グローバル共生社会分野）

選考は、筆答試験（専門科目・外国語）・口述試験・出願書類の総合判定により行います。

試験日	2025年9月10日（水）		
試験科目	筆答試験		口述試験
	専門科目	外国語	
試験時間	9：00～11：00	11：30～12：30	13：30～
心理・コミュニケーション科学分野	特記事項なし	英語 辞書1冊使用可 （電子辞書は使用不可）	特記事項なし
グローバル共生社会分野	9：00～11：00	11：30～12：30	13：30～14：30
	設問の中から2問を選択して解答するが、そのうち少なくとも1問は、進学後研究を計画している研究細目の問題を必ず選ぶこと。	英語Ⅰ 辞書1冊使用可 （電子辞書は使用不可）	英語Ⅱ・ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・韓国語のうちから1言語を選択 （上記のいずれかの言語を母語とする受験者は、他の言語または日本語を選択すること） 辞書1冊使用可 （電子辞書は使用不可）

理学研究科 数理科学専攻

選考は、筆答試験（専門科目）・口述試験・出願書類の総合判定により行います。

試験日	2025年9月10日（水）		
試験科目	筆答試験		口述試験
	専門科目		
試験時間	9：00～11：00		13：30～
数理科学専攻	筆答試験の第4問は、進学後研究を計画している研究細目の問題を必ず選ぶこと。		特記事項なし

(2) 1 月期

人間科学研究科 人間文化科学専攻（哲学・思想文化分野、歴史文化分野、現代日本語・日本語教育分野）

選考は、筆答試験（専門科目・外国語）・口述試験・出願書類の総合判定により行います。

試験日	2026年1月21日（水）		
試験科目	筆答試験		口述試験
	専門科目	外国語	
試験時間	9：00～11：00	11：30～12：30	13：30～
哲学・思想文化分野	哲学一般共通問題および選択問題	英語・ドイツ語・フランス語のうちから1言語を選択 辞書1冊使用可 (電子辞書は使用不可)	特記事項なし
歴史文化分野	9：00～11：00	11：30～12：30	13：30～
	日本史、東アジア史、ヨーロッパ史のうちから選択すること。史料閲読を含む場合がある。 (東アジア史とヨーロッパ史の場合、史料については出願時に選択した英語・ドイツ語・ギリシア語・ラテン語・中国語から1問選択。選択した外国語の辞書1冊使用可。電子辞書は使用不可。)	英語 辞書1冊使用可 (電子辞書は使用不可)	特記事項なし
現代日本語・日本語教育分野	9：00～11：00	11：30～12：30	13：30～
	設問の中から2問を選択して解答する。	英語 辞書1冊使用可 (電子辞書は使用不可)	特記事項なし

人間科学研究科 人間文化科学専攻（日本文学文化分野、英語文学文化分野）

選考は、口述試験、研究計画書・卒業論文等の総合判定により行います。

	出願書類		口述試験
	研究計画書	卒業論文	2026年1月21日（水） 9:00～
日本文学文化分野	以下の観点について審査する 1. 研究課題について、着想に至った経緯、着眼点、先行研究等の点から見た適切性 2. 研究計画の具体性、適切性	以下の観点について審査する 1. 先行研究の扱いと問題設定の適切性 2. 形式と分量（章立て、引用、分量）の適切性 3. データ、情報（資料等）の扱いの適切性 4. 論理展開と結論の導き方の適切性 5. 文章表現の適切性	1人あたり40分程度 以下の観点について審査する 1. 専門分野に関する知識および英語に関する知識、運用能力 2. 学会発表や論文執筆に対する意欲 3. 大学院進学のための目的、研究計画の具体性、適切性
英語文学文化分野	以下の観点について審査する 1. これまでの研究、研究の動機 2. 研究計画と本大学院本分野が提供する教育との整合性	以下の観点について審査する 1. 先行研究の把握 2. 論文としての構成および形式（章立て、引用の仕方） 3. 内容（問題設定、論理展開、結論） 4. 英語（文法、語彙、文章構成）	1人あたり60分程度 日本語と英語で行う 以下の観点について審査する 1. 専門分野および関連分野の基礎知識 2. 英語力 3. 大学院進学のための目的、研究計画

人間科学研究科 人間社会科学専攻（心理・コミュニケーション科学分野）

選考は、口述試験、研究計画書・卒業論文等の総合判定により行います。

	出願書類		口述試験
	研究計画書	卒業論文	2026年1月21日（水） 9:00～
心理・コミュニケーション科学分野	以下の観点について審査する 1. 研究課題について、着想に至った経緯、着眼点、先行研究等の点から見た適切性 2. 研究計画の具体性、適切性	以下の観点について審査する 1. 先行研究の扱いと問題設定の適切性 2. 形式と分量（章立て、引用、分量）の適切性 3. データ、情報（資料等）の扱いの適切性 4. 論理展開と結論の導き方の適切性 5. 文章表現の適切性	1人あたり40分程度 以下の観点について審査する 1. 専門分野に関する知識および英語に関する知識、運用能力 2. 学会発表や論文執筆に対する意欲 3. 大学院進学のための目的、研究計画の具体性、適切性

人間科学研究科 人間社会科学専攻（グローバル共生社会分野）

選考は、筆答試験（専門科目・外国語）・口述試験・出願書類の総合判定により行います。

試験日	2026年1月21日（水）			
試験科目	筆答試験		口述試験	
	専門科目	外国語		
試験時間	9:00～11:00	11:30～12:30	13:30～14:30	15:00～
グローバル共生社会分野	設問の中から2問を選択して解答するが、そのうち少なくとも1問は、進学後研究を計画している研究細目の問題を必ず選ぶこと。	英語Ⅰ 辞書1冊使用可 (電子辞書は使用不可)	英語Ⅱ・ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・韓国語のうちから1言語を選択 (上記のいずれかの言語を母語とする受験者は、他の言語または日本語を選択すること) 辞書1冊使用可 (電子辞書は使用不可)	特記事項なし

理学研究科 数理学専攻

選考は、筆答試験（専門科目）・口述試験・出願書類の総合判定により行います。

試験日	2026年1月21日(水)	
試験科目	筆答試験	口述試験
	専門科目	
試験時間	9:00~11:00	13:30~
数理学専攻	筆答試験の第4問は、進学後研究を計画している研究細目の問題を必ず選ぶこと。	特記事項なし

8. 出願方法

出願書類の所定用紙は本学公式サイトの大学院入試情報からダウンロードしてください。

<https://www.twcu.ac.jp/main/admissions/grad-info/index.html>

所定用紙はすべて A4 サイズで印刷してください。ダウンロードができない場合は、入学課大学院入試係までご連絡ください。

角形 2 号封筒(240mm×332mm)を用意し、ダウンロードした出願用封筒表紙（必要事項を記入）を封筒に貼付して、**速達・簡易書留**で郵送してください。本学窓口では受け付けません。

日本国内からの郵送・日本国外からの郵送いずれの場合も、出願期間締切日必着です。

<出願上の注意>

- (1) 出願書類に不備がある場合は受理できません。提出前に出願書類をよく確認してください。
- (2) 出願書類を受理後、出願書類の追加、変更および返却はできません。
- (3) 出願書類に虚偽の記載をした場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- (4) いったん納入された入学検定料は返還できません。但し、次の事由に該当し、申請が受理された場合は返還します。事務手数料 440 円は返還対象外です。

- ① 入学検定料を納入したが、出願書類を提出しなかった。
- ② 入学検定料を納入し出願書類を提出したが、出願が受理されなかった。
- ③ 入学検定料を誤って過剰に納入した。

上記の事由に該当する場合は、以下の提出書類を所定の期日までに入学課大学院入試係宛に簡易書留で郵送してください。返還が認められた場合は、指定された口座に振込手数料を差し引いて返還します。

なお、返還までには相応の期間を要しますので、あらかじめご承知おきください。

<提出書類>

- ① 「入学検定料返還願」（公式サイトから入学検定料返還願の PDF ファイルをダウンロードすること）
- ② 「入学検定料収納証明書」

<提出期限>

2026年2月28日(土)（期限日の消印有効）

9. 出願書類

No.5～No.7 の書類は日本語または英語で記入された書類を提出すること。それ以外の言語で記入されたものは、公的機関等の証明を受けた日本語または英語の訳文を添付してください。

不測の事態により所属校の閉鎖等が発生し、出願時に書類の原本を提出することができない場合は、出願前早めに入学課大学院入試係まで問い合わせてください。

以下の出願書類以外に必要な応じ他の書類の提出を求めています。

No	提出書類	該当者	摘要
1	入学試験志願票	全員	所定用紙① 学歴欄は出身大学等（卒業見込を含む）すべてを記入すること。 職歴にアルバイトは含まない。 E-mail・電話番号は事前連絡や試験日当日に連絡が取れるものを記入すること。
2	受験票・写真票	全員	所定用紙② 写真は無帽半身正面、縦 4cm×横 3cm、裏面に氏名を記入、出願前 3 か月以内に撮影したものを、写真票に貼付すること。 写真は、試験当日の本人確認や、 入学後の身分証明書の写真として使用します 。表面にきずや汚れのない、鮮明な写りの写真を用意し、一切加工を加えないこと（前髪や陰影が顔や目を隠している等、個人の判断が困難なものは不可）。
3	入学検定料収納証明書貼付票	全員	所定用紙② p.34～35 に従って入学検定料の支払い完了後、「収納証明書」を貼付欄に貼付すること。
4	研究計画書	人間科学研究科 人間文化科学専攻 人間社会科学専攻	日本文学文化分野 所定用紙③-1（縦書き） 2,000 字程度にまとめる。 所定用紙に PC で作成した文書を貼り付ける場合は、剥がれないように糊付けをすること。 参考文献は文字数に含めない。入学後の研究計画を具体的に書くこと。
			英語文学文化分野 所定用紙③-2（横書き） 2,000 字程度（A4 判、任意の様式）にまとめ、所定用紙を表紙として使用する。参考文献は文字数に含めない。 以下の 3 点について記入すること。 ・大学院での研究課題 ・本研究の着想に至った経緯を、先行研究をふまえて述べてください。 ・入学後の研究計画を具体的に述べてください。
			臨床心理学分野 所定用紙③-2（横書き） 1,600 字程度（引用・参考文献は文字数に含めない、A4 判 2 枚以内、任意の様式）にまとめ、所定用紙を表紙として使用する。 以下の項目を含めること。 タイトル、問題（関連する先行研究）、研究目的（仮説があれば仮説も）、研究の意義や独創性、研究方法（手続き、参加者、アプローチ（質的か量的か）、分析法など）、引用・参考文献（うち最低ひとつは英語の論文であること）
			心理・コミュニケーション科学分野 グローバル共生社会分野 所定用紙③-2（横書き） 2,000 字程度（A4 判、任意の様式）にまとめ、所定用紙を表紙として使用する。参考文献は文字数に含めない。入学後の研究計画を具体的に書くこと。
			上記以外の分野 所定用紙③-2（横書き） 1,000 字以内（A4 判、任意の様式）にまとめ、所定用紙を表紙として使用する。参考文献は文字数に含めない。入学後の研究計画を具体的に書くこと。

5 卒業証明書または卒業見込証明書（注 1） 全員 3 か月以内に発行のもの。（注 3）

6 成績証明書（注 2） 全員 卒業（見込）証明書と成績証明書が 1 枚で証明されているものでも可。

（次ページに続く）

No	提出書類	該当者	摘要
7	所見書	理学研究科 数理科学専攻	所定用紙④ 学部在学中の指導教員、またはそれに準ずる方が記載し、厳封したもの（本学数理科学科卒業見込者は不要）。
8	卒業論文に関する書類	人間科学研究科	研究分野、卒業論文の有無などにより提出物が異なる。 全員 「卒業論文に関する書類」(p.13～参照)の指示に従うこと。
9	在籍期間の証明書 (本学入学・退学年月日が明記)	・本学短期大学部または本学学部を退学した者（他大学に編入学または学士入学した者を除く） ・本学大学院修士課程・博士前期課程を退学した者	
10	以下、①または②を提出 ①日本留学試験の「成績確認書」または「成績通知書」のコピー ②日本語能力試験(N1)の合格を示す「日本語能力認定書」または「日本語能力試験 認定結果及び成績に関する証明書」の原本	日本語を母語としない者で、日本以外の国の大学を卒業または卒業見込の者	①日本留学試験(2024年11月～2025年6月実施分)の日本語を受験し、「読解」「聴解・聴読解」「記述」の合計300点以上を取得していること。A4判の用紙にコピーすること。 ②日本語能力試験(N1)は、以下の試験を受験し合格していること。 一般(9月期)：2024年12月実施まで 2025年7月実施の試験の成績は不可とします。 一般(1月期)：2025年7月実施まで
11	一般入試出願書類 チェックリスト	全員	一般(9月期)： 所定用紙⑦-1 一般(1月期)： 所定用紙⑦-2 提出する書類は、提出欄にすべてチェックすること。
-	外国人留学生の追加提出書類	日本以外の国籍を有し、入学後在留資格「留学」を有する予定の者	p.16「外国人留学生の追加提出書類」を参照すること。

- 注 1) ①大学改革支援・学位授与機構に学位を申請して学位を取得した者は、出身校の修了証明書、学位授与証明書、および学位申請に係わる科目の成績証明書（修得した機関ごとに各1通）等の証明書を提出してください。
- ②学士学位取得（見込）者で、証明書に学士学位取得に関する記載がない場合は、学士学位取得（見込）を証明する書類を別途提出してください。
- 2) 成績証明書は出身大学、出身学部にかかわらず次のものを提出してください。
- ① 4年制大学を複数卒業している場合は、すべての大学の成績証明書
- ② 大学に編入学または学士入学している場合は、短期大学（または以前の大学）と大学の成績証明書
- ③ 大学院を修了している場合は、学部と大学院の成績証明書
- 3) 改姓により証明書と姓が異なる場合は、氏名の変更が確認できる証明書として戸籍抄本（3か月以内に発行されたもの、コピー不可）を提出してください。確認後返却します。

(次ページに続く)

卒業論文に関する書類

以下のものを提出してください。

なお、卒業論文が日本語および英語以外の言語で書かれている場合は、原本の写しに日本語（2,000字程度）または英語（500～600words）の概要を添付すること。

複数の大学で卒業論文を作成した場合、あるいは、既に他の大学院で修士論文を作成した場合は、今回の受験に最も関係が深いと考える卒業論文（または修士論文）の写し等を提出のこと。

9 月期

研究科	専攻	研究分野	提出書類
人間科学研究科	人間文化科学専攻	哲学・思想文化分野	<p>【既に卒業論文を提出している者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業論文の写し <p>【卒業論文の分野が異なる者・卒業論文を作成中の者・卒業論文を課されていない者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業論文の代替となる論文（10,000字以内、A4判用紙）
	人間社会科学専攻	臨床心理学分野	<p>【既に卒業論文を提出している者】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①卒業論文に関わる提出書類(2-1)（所定用紙⑤-1） ②卒業論文に関わる提出書類(2-2)（所定用紙⑥-1） ③卒業論文(最も近い分野のもの)の要旨（1,600字程度、A4判2枚以内・任意の様式、参考文献は文字数に含めない） <p>※②を表紙とし、まとめてホチキス止めをして提出すること</p> <p>※執筆者名（グループで書いている場合は他〇名と記載）、問題と目的、研究の意義、方法、結果と考察、引用文献で構成すること（調査の結果が出ていない場合には、途中経過を明示すること）</p> <p>【卒業論文の分野が異なる者・卒業論文を作成中の者・卒業論文を課されていない者】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①卒業論文に関わる提出書類(2-1)（所定用紙⑤-1） ②卒業論文に関わる提出書類(2-2)（所定用紙⑥-1） ③卒業論文の要旨またはこれまでの研究活動に関する報告(1,600字程度、A4判2枚以内・任意の様式、参考文献は文字数に含めない） <p>※②を表紙とし、まとめてホチキス止めをして提出すること</p> <p>※執筆者名（グループで書いている場合は他〇名と記載）、問題と目的、研究の意義、方法、結果と考察、引用文献で構成すること（調査の結果が出ていない場合には、途中経過を明示すること）</p>
		心理・コミュニケーション科学分野 グローバル共生社会分野	<p>【既に卒業論文を提出している者】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①卒業論文の写し ②卒業論文に関わる提出書類(2-1)（所定用紙⑤-1） ③卒業論文に関わる提出書類(2-2)（所定用紙⑥-1） ④卒業論文の要旨（1,600字程度、A4判・任意の様式、参考文献は文字数に含めない） <p>※③を表紙とし、まとめてホチキス止めをして提出すること</p> <p>【卒業論文の分野が異なる者・卒業論文を作成中の者・卒業論文を課されていない者】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①卒業論文に関わる提出書類(2-1)（所定用紙⑤-1） ②卒業論文に関わる提出書類(2-2)（所定用紙⑥-1） ③卒業論文の要旨またはこれまでの研究活動に関する報告（1,600字程度、A4判・任意の様式、参考文献は文字数に含めない） <p>※②を表紙とし、まとめてホチキス止めをして提出すること</p>

1 月期

研究科	専攻	研究分野	提出書類
人間科学研究科	人間文化科学専攻	哲学・思想文化分野	<p>【卒業論文を提出済または提出期限が 2025 年 12 月末日以前に定められており、卒業論文の分野が同じ者】</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒業論文の写し ※在学中の大学の卒業論文提出期限が 2025 年 11 月 15 日～12 月末日の場合は、2026 年 1 月 5 日（月）までに入学課大学院入試係に提出してください。卒業論文の写しは原則として郵送にて提出してください。所定の期限までに提出できない場合、筆答試験・口述試験を受ける資格を失います。ただし、この場合については入学検定料の返還は行いません。 <p>【卒業論文の分野が異なる者・卒業論文の提出期限が 2026 年 1 月以降に定められている者・卒業論文を課されていない者】</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒業論文の代替となる論文（20,000 字以内、A4 判用紙）
		日本文学文化分野	<p>【卒業論文を提出済または提出期限が 2025 年 12 月末日以前に定められており、卒業論文の分野が同じ者】</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒業論文の写し ※在学中の大学の卒業論文提出期限が 2025 年 11 月 15 日～12 月末日の場合は、2026 年 1 月 5 日（月）までに入学課大学院入試係に提出してください。卒業論文の写しは原則として郵送にて提出してください。所定の期限までに提出できない場合、筆答試験・口述試験を受ける資格を失います。ただし、この場合については入学検定料の返還は行いません。 <p>【卒業論文の分野が異なる者・卒業論文の提出期限が 2026 年 1 月以降に定められている者・卒業論文を課されていない者】</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒業論文の代替となる論文（20,000 字程度、A4 判用紙）
		英語文学文化分野	<p>【卒業論文を提出済または提出期限が 2025 年 12 月末日以前に定められており、卒業論文の分野が同じ者】</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒業論文の写し ※卒業論文が日本語で書かれている場合は 1,000～1,200words 程度の英文要約をつけてください。 ※在学中の大学の卒業論文提出期限が 2025 年 11 月 15 日～12 月末日の場合は、2026 年 1 月 5 日（月）までに入学課大学院入試係に提出してください。卒業論文の写しは原則として郵送にて提出してください。所定の期限までに提出できない場合、筆答試験・口述試験を受ける資格を失います。ただし、この場合については入学検定料の返還は行いません。 <p>【卒業論文の分野が異なる者・卒業論文の提出期限が 2026 年 1 月以降に定められている者・卒業論文を課されていない者】</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒業論文の代替となる英語論文（1,500～3,000words、A4 判用紙）
		歴史文化分野 現代日本語・日本語教育分野	<p>【卒業論文を提出済または提出期限が 2025 年 12 月末日以前に定められており、卒業論文の分野が同じ者】</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒業論文の写し ※在学中の大学の卒業論文提出期限が 2025 年 11 月 15 日～12 月末日の場合は、2026 年 1 月 5 日（月）までに入学課大学院入試係に提出してください。卒業論文の写しは原則として郵送にて提出してください。所定の期限までに提出できない場合、筆答試験・口述試験を受ける資格を失います。ただし、この場合については入学検定料の返還は行いません。 <p>【卒業論文の分野が異なる者・卒業論文の提出期限が 2026 年 1 月以降に定められている者・卒業論文を課されていない者】</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒業論文の代替となる論文（10,000 字以内、A4 判用紙）

(次ページに続く)

研究科	専攻	研究分野	提出書類
人間科学研究科	人間社会科学専攻	心理・コミュニケーション科学分野	<p>【卒業論文を提出済または提出期限が 2025 年 12 月末日以前に定められており、卒業論文の分野が同じ者】</p> <p>①卒業論文の写し ※在学中の大学の卒業論文提出期限が 2025 年 11 月 15 日～12 月末日の場合は、2026 年 1 月 5 日（月）までに入学課大学院入試係に提出してください。卒業論文の写しは原則として郵送にて提出してください。所定の期限までに提出できない場合、筆答試験・口述試験を受ける資格を失います。ただし、この場合については入学検定料の返還は行いません。</p> <p>②卒業論文に関わる提出書類(2-1)（所定用紙⑤-2） ③卒業論文に関わる提出書類(2-2)（所定用紙⑥-2） ④卒業論文の要旨（1,600 字程度、A4 判・任意の様式、参考文献は文字数に含めない） ※③を表紙とし、まとめてホチキス止めをして提出すること</p> <p>【卒業論文の分野が異なる者・卒業論文の提出期限が 2026 年 1 月以降に定められている者・卒業論文を課されていない者】 ・卒業論文の代替となる論文（10,000 字以内、A4 判用紙）</p>
		グローバル共生社会分野	<p>【卒業論文を提出済または提出期限が 2025 年 12 月末日以前に定められており、卒業論文の分野が同じ者】</p> <p>①卒業論文の写し ※在学中の大学の卒業論文提出期限が 2025 年 11 月 15 日～12 月末日の場合は、2026 年 1 月 5 日（月）までに入学課大学院入試係に提出してください。卒業論文の写しは原則として郵送にて提出してください。所定の期限までに提出できない場合、筆答試験・口述試験を受ける資格を失います。ただし、この場合については入学検定料の返還は行いません。</p> <p>②卒業論文に関わる提出書類(2-1)（所定用紙⑤-2） ③卒業論文に関わる提出書類(2-2)（所定用紙⑥-2） ④卒業論文の要旨（1,600 字程度、A4 判・任意の様式、参考文献は文字数に含めない） ※③を表紙とし、まとめてホチキス止めをして提出すること</p> <p>【卒業論文の分野が異なる者・卒業論文の提出期限が 2026 年 1 月以降に定められている者・卒業論文を課されていない者】</p> <p>①卒業論文に関わる提出書類(2-1)（所定用紙⑤-2） ②卒業論文に関わる提出書類(2-2)（所定用紙⑥-2） ③卒業論文の要旨またはこれまでの研究活動に関する報告（1,600 字程度、A4 判・任意の様式、参考文献は文字数に含めない） ※②を表紙とし、まとめてホチキス止めをして提出すること</p>

10. 外国人留学生の追加提出書類

日本以外の国籍を有し、入学後在留資格「留学」を有する予定の者は、「9. 出願書類」以外に、以下の書類を出願時に提出してください。「出願資格確認書」および「出願書類綴」は入学課大学院入試係に請求してください。

- ① 出願資格確認書（所定用紙）
- ② パスポートのコピー（身分事項のページ）
- ③ 日本国内に住居地を定めている者は在留カードのコピー（両面）
- ④ 経費支弁計画書（所定用紙）
用紙：「出願書類綴：3」支弁者が複数の場合は用紙をコピーして人数分を提出
- ⑤ 東京女子大学国際交流奨学金願書（所定用紙）※奨学金出願者のみ
用紙：「出願書類綴：5」
添付書類：「出願書類綴：4. 東京女子大学国際交流奨学金奨学生募集要項」を参照
参照：p.32
- ⑥ 在留資格「留学」取得に必要な書類（本学に代理申請を依頼する場合のみ）※
用紙：「在留資格認定証明書交付申請書」及び「出願書類綴 6、7」
注意事項：出身国により追加の書類を求められるので事前に確認すること
参照：法務省出入国在留管理庁、外務省ホームページ

※日本に居住していない者が、本学への入学を目的として日本に入国するには、日本の法務省出入国在留管理庁に在留資格「留学」の「在留資格認定証明書(Certificate of Eligibility、以下 COE)」の交付申請を行う必要があります。COE の交付には 2 か月以上かかりますので、本学に代理申請を願ひ出る者は、出願時に⑥の書類を提出してください。所定の入学手続後、代理申請を行います。出願時に提出しなかった場合は、代理申請を行いません。

11. 入学検定料の納入

入学検定料は **35,000 円**です。

9 月期支払期間 2025 年 7 月 28 日（月）～ 8 月 4 日（月）

1 月期支払期間 2025 年 11 月 8 日（土）～ 11 月 14 日（金）

- (1) 「入学検定料支払方法」(p.34～35)の説明に従って納入してください。日本国外からの支払はクレジットカードのみです。入学検定料の納入の際には、別途事務手数料が 440 円かかります。
- (2) 支払期間最終日は 23:30 まで Web からの申込が可能ですが、出願書類は出願締切日必着です。出願に間に合うように、余裕をもって支払いを行ってください。
- (3) Web からの申込の際、住所は志願票に記入した「書類送付先住所」を入力してください。受験票等の送付には、このデータを利用します。メールアドレスについても、志願票に記入したアドレスと同一のものを入力してください。なお、Web からの申込で入力した志望専攻・研究分野名と志願票に記入した専攻・研究分野名が異なる場合は、志願票に記入した専攻・研究分野名を優先します。
- (4) 支払完了後、Web からの申込をしたサイトに申込内容確認画面から再度ログインし、「入学検定料・選考料取扱明細書」を印刷し『収納証明書』部分を切り取り、入学検定料収納証明書貼付票【所定用紙②】に貼付してください。本人保管用に「入学検定料・選考料取扱明細書」の PDF を保存するか、もう一枚印刷しておいてください。
ただし、コンビニエンスストアおよび金融機関 ATM(Pay-easy)で支払った場合は、領収書（レシート）の原本を『収納証明書』に代えて提出することができます。領収書（レシート）の原本を入学検定料収納証明書貼付票【所定用紙②】に貼付してください。この場合は、本人保管用に領収書（レシート）のコピーをとっておいてください。

II. 社会人対象入学試験＜人間科学研究科＞

本制度は社会人として社会経験を経た人に大学院の門戸をより積極的に開くことを目的とし、従来の一般入試とは別に社会経験を考慮した選考による入試制度です。但し、入学後は一般学生と同じ資格の学生となり、カリキュラム、時間割において、昼夜開講等の特別な配慮は行われません。

1. 募集人員

研究科	専攻	研究分野	研究細目	募集人員
人間科学研究科	人間文化科学専攻	哲学・思想文化分野	哲学、倫理学・社会哲学、美学・芸術学	若干名
		日本文学文化分野	日本語史、日本古典文学文化、日本近現代文学文化	若干名
		英語文学文化分野	英語学、英米文学	若干名
		歴史文化分野	日本、東アジア、ヨーロッパ	若干名
		現代日本語・日本語教育分野	日本語教育学	若干名
	人間社会科学専攻	臨床心理学分野	臨床心理学	若干名
		心理・コミュニケーション科学分野	心理科学、コミュニケーション科学	若干名
		グローバル共生社会分野	グローバル社会、地域共生・平和共生、共生経済、共生社会、グローバルジェンダー	若干名

注) 入学後、研究分野の変更はできません。

2. 標準修業年限 2年

3. 出願資格

次のいずれかに該当する女子で、かつその資格を取得後に出願を希望する専攻・分野の要件を大学院入学までに満たす者。

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構より学士の学位を取得した者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 日本国内において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより当該課程を修了することおよび当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2026年3月31日までに22歳に達する者

（専攻・分野の要件は次ページに続く）

<専攻・分野の要件>

◎人間文化科学専攻 全分野

入学時に社会人として3年以上の社会経験を有する者

◎人間社会科学専攻

臨床心理学分野	入学時に臨床心理学分野に関わる教育・研究の職業もしくはそれに準じる分野の職業に2年以上従事した者
心理・コミュニケーション科学分野	入学時に社会人として3年以上の社会経験を有する者
グローバル共生社会分野	入学時に社会人として2年以上の社会経験を有する者

<受験および修学上の合理的配慮について>

障がいや疾病等により、何らかの合理的配慮を希望する者は、出願期間開始の1か月前までに入学課大学院入試係へ問い合わせてください。

また、出願後に不慮の事故等により、同様に合理的配慮を希望する場合にも、直ちに入学課大学院入試係へ申し出てください。

入学後の修学に関する支援（合理的配慮）については、入学手続完了後、学生生活課に所定の支援申請手続が必要です。申請手続後に支援内容について改めて検討します。

4. 出願条件

日本語を母語としない者で、日本以外の国の大学を卒業した者は、独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験（2024年11月～2025年6月実施分）の日本語を受験し「読解」「聴解・聴読解」「記述」の合計300点以上を取得していること^{注1}。あるいは公益財団法人日本国際教育支援協会と独立行政法人国際交流基金が主催する日本語能力試験（N1）を過去に（2025年7月実施まで）受験し合格していること。

注1. 複数回受験した場合は、成績の利用を希望する受験回（1回分）を選択すること。

【日本留学試験 問合せ先】 <https://www.jasso.go.jp/ryugaku/eju/>

独立行政法人日本学生支援機構 留学生事業部 留学試験課 Tel 03-6407-7457

【日本語能力試験 問合せ先】 <https://www.jlpt.jp/>

公益財団法人日本国際教育支援協会 日本語能力試験（日本国内）受付センター Tel 03-6686-2974

5. 出願資格審査

社会人対象入学試験の出願希望者に対し、下記の期間に出願資格審査を行います。入学課大学院入試係に事前に問い合わせの上、以下の書類を所定の期日までに郵送してください。

出願資格審査で認定された者のみ、社会人対象入学試験に出願できます。

(1) 提出書類

出願資格(1)～(8)で出願を希望する者：

① 「3.出願資格」を証明する証明書(卒業証明書等)

改姓により証明書と姓が異なる場合は、氏名の変更が確認できる証明書として戸籍抄本(3か月以内に発行されたもの、コピー不可)を提出してください。確認後返却します。

② 社会人対象入学試験出願資格審査申請書(所定用紙)

③ 出願資格審査用紙(臨床心理学分野用/臨床心理学分野以外用)(所定用紙)

注) ②③の所定用紙は本学公式サイトからダウンロードしてください。

<https://www.twcu.ac.jp/main/admissions/grad-info/index.html>

※必要に応じて上記以外の書類の提出を求める場合があります。

出願資格(9)で出願を希望する者：

入学課大学院入試係に必要な書類についてお問い合わせください。

(2) 出願資格審査受付期間 2025年10月3日(金)～10月9日(木) 必着

封筒に「大学院博士前期課程 出願資格審査書類在中」と明記の上、東京女子大学入学課大学院入試係宛に速達・簡易書留で郵送してください。本学窓口では受け付けません。

(3) 出願資格審査の結果は、11月上旬までに本人宛に通知します。

6. 入学試験日程

研究科	専攻	募集する研究分野	出願期間	試験日		合格者発表日	入学手続	
				筆答試験	口述試験		入学申込金納入期限	その他入学手続時納入金納入期限
人間科学研究科	人間文化科学専攻	哲学・思想文化分野 歴史文化分野 現代日本語・日本語教育分野	11/10(月)～ 11/14(金) 締切日必着 日本国外から郵送する場合も11/14(金)必着	2026年 1/21(水)		2026年 1/30(金) 10時	2026年 2/6(金)	2026年 2/20(金)
		日本文学文化分野 英語文学文化分野			1/21(水)			
	人間社会科学専攻	臨床心理学分野		一次 1/21(水)	二次 1/22(木)			
		心理・コミュニケーション科学分野 ^{注1}			1/21(水)			
		グローバル共生社会分野		1/21(水)				

試験は本学キャンパスで実施します。

注1：心理・コミュニケーション科学分野に出願する方は、入学後のミスマッチを防ぐために、出願までに入学課を通じて希望する指導教員に連絡を取り、ご自身が考えている研究内容などを十分に相談してください(必須)。相談には教員との日程調整が必要なため、出願までに余裕をもって入学課大学院入試係に連絡してください。

7. 選考方法・試験科目・時間割

人間科学研究科 人間文化科学専攻（哲学・思想文化分野、現代日本語・日本語教育分野）

選考は、筆答試験（専門科目・外国語）・口述試験・出願書類の総合判定により行います。

人間科学研究科 人間文化科学専攻（歴史文化分野）

選考は、筆答試験（専門科目）・口述試験・出願書類の総合判定により行います。

試験日	2026年1月21日（水）		
試験科目	筆答試験		口述試験
	専門科目	外国語	
試験時間	9:00~11:00	11:30~12:30	13:30~
哲学・思想文化分野	哲学一般共通問題および選択問題	英語・ドイツ語・フランス語のうちから1言語を選択 辞書1冊使用可 (電子辞書は使用不可)	特記事項なし
歴史文化分野	9:00~11:00	/	13:30~
	日本史、東アジア史、ヨーロッパ史のうちから選択すること。史料閲読を含む場合がある。 (東アジア史とヨーロッパ史の場合、史料については出願時に選択した英語・ドイツ語・ギリシア語・ラテン語・中国語から1問選択。選択した外国語の辞書1冊使用可。電子辞書は使用不可。)		特記事項なし
現代日本語・日本語教育分野	9:00~11:00	11:30~12:30	13:30~
	設問の中から2問を選択して解答する。	英語 辞書1冊使用可 (電子辞書は使用不可)	特記事項なし

人間科学研究科 人間文化科学専攻（日本文学文化分野、英語文学文化分野）

選考は、口述試験、研究計画書・卒業論文等の総合判定により行います。

	出願書類		口述試験
	研究計画書	卒業論文	2026年1月21日（水） 9:00~
日本文学文化分野	以下の観点について審査する 1. 研究課題について、着想に至った経緯、着眼点、先行研究等の点から見た適切性 2. 研究計画の具体性、適切性	以下の観点について審査する 1. 先行研究の扱いと問題設定の適切性 2. 形式と分量（章立て、引用、分量）の適切性 3. データ、情報（資料等）の扱いの適切性 4. 論理展開と結論の導き方の適切性 5. 文章表現の適切性	1人あたり40分程度 以下の観点について審査する 1. 専門分野に関する知識および英語に関する知識、運用能力 2. 学会発表や論文執筆に対する意欲 3. 大学院進学のための目的、研究計画の具体性、適切性
英語文学文化分野	以下の観点について審査する 1. これまでの研究、研究の動機 2. 研究計画と本大学院本分野が提供する教育との整合性	以下の観点について審査する 1. 先行研究の把握 2. 論文としての構成および形式（章立て、引用の仕方） 3. 内容（問題設定、論理展開、結論） 4. 英語（文法、語彙、文章構成）	1人あたり60分程度 日本語と英語で行う 以下の観点について審査する 1. 専門分野および関連分野の基礎知識 2. 英語力 3. 大学院進学のための目的、研究計画

人間科学研究科 人間社会科学専攻（臨床心理学分野）

選考は、第一次試験（筆答試験：専門科目・外国語）、第二次試験（口述試験）および出願書類の総合判定により行います。第二次試験は第一次試験に合格した者のみ受けることができます。

試験日	2026年1月21日（水）第一次試験		1月22日（木） 第二次試験
試験科目	筆答試験		口述試験
	専門科目	外国語	
試験時間	9:00～11:00	11:30～12:30	9:30～
臨床心理学分野	特記事項なし	英語 辞書1冊使用可 (電子辞書は使用不可)	特記事項なし

第一次試験の選考結果は、2026年1月21日（水）20時までに本学公式サイトに掲載します。

第一次試験結果発表ページ <https://www.twcu.ac.jp/admission/>

最終合格者は第二次試験受験者の中から第一次試験、第二次試験の結果および出願書類を総合して判定します。

人間科学研究科 人間社会科学専攻（心理・コミュニケーション科学分野）

選考は、口述試験、研究計画書・卒業論文等の総合判定により行います。

	出願書類		口述試験
	研究計画書	卒業論文	2026年1月21日（水） 9:00～
心理・コミュニケーション科学分野	以下の観点について審査する 1. 研究課題について、着想に至った経緯、着眼点、先行研究等の点から見た適切性 2. 研究計画の具体性、適切性	以下の観点について審査する 1. 先行研究の扱いと問題設定の適切性 2. 形式と分量（章立て、引用、分量）の適切性 3. データ、情報（資料等）の扱いの適切性 4. 論理展開と結論の導き方の適切性 5. 文章表現の適切性	1人あたり40分程度 以下の観点について審査する 1. 専門分野に関する知識および英語に関する知識、運用能力 2. 学会発表や論文執筆に対する意欲 3. 大学院進学目的、研究計画の具体性、適切性

人間科学研究科 人間社会科学専攻（グローバル共生社会分野）

選考は、筆答試験（専門科目・外国語）・口述試験・出願書類の総合判定により行います。

試験日	2026年1月21日（水）			
試験科目	筆答試験		口述試験	
	専門科目	外国語		
試験時間	9:00～11:00	11:30～12:30	13:30～14:30	15:00～
グローバル共生社会分野	設問の中から2問を選択して解答するが、そのうち少なくとも1問は、進学後研究を計画している研究細目の問題を必ず選ぶこと。	英語Ⅰ・ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・韓国語のうちから1言語を選択（上記のいずれかの言語を母語とする受験者は、他の言語または日本語を選択すること）。選択する言語により時間割が異なるので注意すること。 英語Ⅰ 辞書1冊使用可 (電子辞書は使用不可)		ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・韓国語 辞書1冊使用可 (電子辞書は使用不可)
				特記事項なし

8. 出願方法

出願書類の所定用紙は本学公式サイトの大大学院入試情報からダウンロードしてください。

<https://www.twcu.ac.jp/main/admissions/grad-info/index.html>

所定用紙はすべて A4 サイズで印刷してください。ダウンロードができない場合は、入学課大学院入試係までご連絡ください。

角形 2 号封筒(240mm×332mm)を用意し、ダウンロードした出願用封筒表紙（必要事項を記入）を封筒に貼付して、**速達・簡易書留**で郵送してください。本学窓口では受け付けません。

日本国内からの郵送・日本国外からの郵送いずれの場合も、出願期間締切日必着です。

<出願上の注意>

- (1) 出願書類に不備がある場合は受理できません。提出前に出願書類をよく確認してください。
- (2) 出願書類を受理後、出願書類の追加、変更および返却はできません。
- (3) 出願書類に虚偽の記載をした場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- (4) いったん納入された入学検定料は返還できません。但し、次の事由に該当し、申請が受理された場合は返還します。事務手数料 440 円は返還対象外です。
 - ① 入学検定料を納入したが、出願書類を提出しなかった。
 - ② 入学検定料を納入し出願書類を提出したが、出願が受理されなかった。
 - ③ 入学検定料を誤って過剰に納入した。

上記の事由に該当する場合は、以下の提出書類を所定の期日までに入学課大学院入試係宛に簡易書留で郵送してください。返還が認められた場合は、指定された口座に振込手数料を差し引いて返還します。なお、返還までには相応の期間を要しますので、あらかじめご承知おきください。

<提出書類>

- ① 「入学検定料返還願」（公式サイトから入学検定料返還願の PDF ファイルをダウンロードすること）
- ② 「入学検定料収納証明書」

<提出期限>

2026 年 2 月 28 日(土)（期限日の消印有効）

9. 出願書類

No.6・7の書類は日本語または英語で記入された書類を提出すること。それ以外の言語で記入されたものは、公的機関等の証明を受けた日本語または英語の訳文を添付してください。

不測の事態により所属校の閉鎖等が発生し、出願時に書類の原本を提出することができない場合は、出願前早めに入学課大学院入試係まで問い合わせてください。

以下の出願書類以外に必要な応じ他の書類の提出を求めることがあります。

No	提出書類	該当者	摘要																				
1	入学試験志願票	全員	所定用紙①-1 学歴欄は出身大学等（卒業見込を含む）すべてを記入すること。 職歴にアルバイトは含まない。 E-mail・電話番号は事前連絡や試験日当日に連絡が取れるものを記入すること。																				
2	志望理由書	全員	所定用紙①-2 社会経験との関連で志望の動機等を具体的に記入すること。字数は定めない。																				
3	受験票・写真票	全員	所定用紙② 写真は無帽半身正面、縦4cm×横3cm、裏面に氏名を記入、出願前3か月以内に撮影したものを、写真票に貼付すること。 写真は、試験当日の本人確認や、 入学後の身分証明書の写真として使用します。 表面にきずや汚れのない、鮮明な写りの写真を用意し、一切加工を加えないこと（前髪や陰影が顔や目を隠している等、個人の判断が困難なものは不可）。																				
4	入学検定料収納証明書貼付票	全員	所定用紙② p.34～35に従って入学検定料の支払い完了後、「収納証明書」を貼付欄に貼付すること。																				
5	研究計画書	人間科学研究科 人間文化科学専攻 人間社会科学専攻	<table border="1"> <tbody> <tr> <td colspan="2">日本文学文化分野 所定用紙③-1（縦書き）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">2,000字程度にまとめる。 所定用紙にPCで作成した文書を貼り付ける場合は、剥がれないように糊付けをすること。参考文献は文字数に含めない。入学後の研究計画を具体的に書くこと。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">英語文学文化分野 所定用紙③-2（横書き）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">2,000字程度（A4判、任意の様式）にまとめ、所定用紙を表紙として使用する。参考文献は文字数に含めない。 以下の3点について記入すること。 ・大学院での研究課題 ・本研究の着想に至った経緯を、先行研究をふまえて述べてください。 ・入学後の研究計画を具体的に述べてください。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">臨床心理学分野 所定用紙③-2（横書き）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">1,600字程度（引用・参考文献は文字数に含めない、A4判2枚以内、任意の様式）にまとめ、所定用紙を表紙として使用する。 以下の項目を含めること。 タイトル、問題（関連する先行研究）、研究目的（仮説があれば仮説も）、研究の意義や独創性、研究方法（手続き、参加者、アプローチ（質的か量的か）、分析法など）、引用・参考文献（うち最低ひとつは英語の論文であること）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">心理・コミュニケーション科学分野 グローバル共生社会分野 所定用紙③-2（横書き）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">2,000字程度（A4判、任意の様式）にまとめ、所定用紙を表紙として使用する。参考文献は文字数に含めない。入学後の研究計画を具体的に書くこと。</td> </tr> <tr> <td colspan="2">上記以外の分野 所定用紙③-2（横書き）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">1,000字以内（A4判、任意の様式）にまとめ、所定用紙を表紙として使用する。参考文献は文字数に含めない。入学後の研究計画を具体的に書くこと。</td> </tr> </tbody> </table>	日本文学文化分野 所定用紙③-1（縦書き）		2,000字程度にまとめる。 所定用紙にPCで作成した文書を貼り付ける場合は、剥がれないように糊付けをすること。参考文献は文字数に含めない。入学後の研究計画を具体的に書くこと。		英語文学文化分野 所定用紙③-2（横書き）		2,000字程度（A4判、任意の様式）にまとめ、所定用紙を表紙として使用する。参考文献は文字数に含めない。 以下の3点について記入すること。 ・大学院での研究課題 ・本研究の着想に至った経緯を、先行研究をふまえて述べてください。 ・入学後の研究計画を具体的に述べてください。		臨床心理学分野 所定用紙③-2（横書き）		1,600字程度（引用・参考文献は文字数に含めない、A4判2枚以内、任意の様式）にまとめ、所定用紙を表紙として使用する。 以下の項目を含めること。 タイトル、問題（関連する先行研究）、研究目的（仮説があれば仮説も）、研究の意義や独創性、研究方法（手続き、参加者、アプローチ（質的か量的か）、分析法など）、引用・参考文献（うち最低ひとつは英語の論文であること）		心理・コミュニケーション科学分野 グローバル共生社会分野 所定用紙③-2（横書き）		2,000字程度（A4判、任意の様式）にまとめ、所定用紙を表紙として使用する。参考文献は文字数に含めない。入学後の研究計画を具体的に書くこと。		上記以外の分野 所定用紙③-2（横書き）		1,000字以内（A4判、任意の様式）にまとめ、所定用紙を表紙として使用する。参考文献は文字数に含めない。入学後の研究計画を具体的に書くこと。	
日本文学文化分野 所定用紙③-1（縦書き）																							
2,000字程度にまとめる。 所定用紙にPCで作成した文書を貼り付ける場合は、剥がれないように糊付けをすること。参考文献は文字数に含めない。入学後の研究計画を具体的に書くこと。																							
英語文学文化分野 所定用紙③-2（横書き）																							
2,000字程度（A4判、任意の様式）にまとめ、所定用紙を表紙として使用する。参考文献は文字数に含めない。 以下の3点について記入すること。 ・大学院での研究課題 ・本研究の着想に至った経緯を、先行研究をふまえて述べてください。 ・入学後の研究計画を具体的に述べてください。																							
臨床心理学分野 所定用紙③-2（横書き）																							
1,600字程度（引用・参考文献は文字数に含めない、A4判2枚以内、任意の様式）にまとめ、所定用紙を表紙として使用する。 以下の項目を含めること。 タイトル、問題（関連する先行研究）、研究目的（仮説があれば仮説も）、研究の意義や独創性、研究方法（手続き、参加者、アプローチ（質的か量的か）、分析法など）、引用・参考文献（うち最低ひとつは英語の論文であること）																							
心理・コミュニケーション科学分野 グローバル共生社会分野 所定用紙③-2（横書き）																							
2,000字程度（A4判、任意の様式）にまとめ、所定用紙を表紙として使用する。参考文献は文字数に含めない。入学後の研究計画を具体的に書くこと。																							
上記以外の分野 所定用紙③-2（横書き）																							
1,000字以内（A4判、任意の様式）にまとめ、所定用紙を表紙として使用する。参考文献は文字数に含めない。入学後の研究計画を具体的に書くこと。																							

（次ページに続く）

No	提出書類	該当者	摘要
6	卒業証明書 (注1)	全員	3か月以内に発行のもの。(注3) 卒業証明書と成績証明書が1枚で証明されているものでも可。
7	成績証明書 (注2)		
8	卒業論文に関する書類	人間科学研究科	研究分野、卒業論文の有無などにより提出物が異なる。 全員 「卒業論文に関する書類」(p.25～参照)の指示に従うこと。
9	今までの社会人としての活動に関する報告	人間社会科学専攻 臨床心理学分野	2年間の臨床心理学に関わる教育・研究活動の報告 2,000字程度 (A4判用紙1枚裏面可、参考文献を文字数に含む)。
		人間社会科学専攻 グローバル共生社会分野	2,000字程度
10	在籍期間の証明書 (本学入学・退学年月日が明記)	<ul style="list-style-type: none"> ・本学短期大学部または本学学部を退学した者(他大学に編入学または学士入学した者を除く) ・本学大学院修士課程・博士前期課程を退学した者 	
11	以下、①または②を提出 ①日本留学試験の「成績確認書」または「成績通知書」のコピー ②日本語能力試験(N1)の合格を示す「日本語能力認定書」または「日本語能力試験 認定結果及び成績に関する証明書」の原本	日本語を母語としない者で、日本以外の国の大学を卒業した者	<ul style="list-style-type: none"> ①日本留学試験(2024年11月～2025年6月実施分)の日本語を受験し、「読解」「聴解・聴読解」「記述」の合計300点以上を取得していること。A4判の用紙にコピーすること。 ②日本語能力試験(N1)は、2025年7月実施までの試験を受験し合格していること。
12	社会人対象入試出願書類チェックリスト	全員	所定用紙⑦-3 提出する書類は、提出欄にすべてチェックすること。
-	外国人留学生の追加提出書類	日本以外の国籍を有し、入学後在留資格「留学」を有する予定の者	p.16「外国人留学生の追加提出書類」を参照すること。

- 注 1) ① 出願資格審査で提出した書類がある場合は、重複して提出する必要はありません。
- ② 大学改革支援・学位授与機構に学位を申請して学位を取得した者は、出身校の修了証明書、学位授与証明書、および学位申請に係わる科目の成績証明書(修得した機関ごとに各1通)等の証明書を提出してください。
- ③ 学士学位取得者で、証明書に学士学位取得に関する記載がない場合は、学士学位取得を証明する書類を別途提出してください。
- 2) 成績証明書は出身大学、出身学部にかかわらず次のものを提出してください。
- ① 4年制大学を複数卒業している場合は、すべての大学の成績証明書
- ② 大学に編入学または学士入学している場合は、短期大学(または以前の大学)と大学の成績証明書
- ③ 大学院を修了している場合は、学部と大学院の成績証明書
- 3) 改姓により証明書と姓が異なる場合は、氏名の変更が確認できる証明書として戸籍抄本(3か月以内に発行されたもの、コピー不可)を提出してください。確認後返却します。

卒業論文に関する書類

以下のものを提出してください。

なお、卒業論文が日本語および英語以外の言語で書かれている場合は、原本の写しに日本語（2,000字程度）または英語（500～600words）の概要を添付すること。

複数の大学で卒業論文を作成した場合、あるいは、既に他の大学院で修士論文を作成した場合は、今回の受験に最も関係が深いと考える卒業論文（または修士論文）の写し等を提出のこと。

研究科	専攻	研究分野	提出書類
人間科学研究科	人間文化科学専攻	哲学・思想文化分野	【卒業論文の分野が同じ者】 ・卒業論文の写し 【卒業論文の分野が異なる者・卒業論文を課されていない者】 ・卒業論文の代替となる論文（20,000字以内、A4判用紙）
		日本文学文化分野	【卒業論文の分野が同じ者】 ・卒業論文の写し 【卒業論文の分野が異なる者・卒業論文を課されていない者】 ・卒業論文の代替となる論文（20,000字程度、A4判用紙）
		英語文学文化分野	【卒業論文の分野が同じ者】 ・卒業論文の写し ※卒業論文が日本語で書かれている場合は1,000～1,200words程度の英文要約をつけてください。 【卒業論文の分野が異なる者・卒業論文を課されていない者】 ・卒業論文の代替となる英語論文（1,500～3,000words、A4判用紙）
		歴史文化分野 現代日本語・日本語教育分野	【卒業論文の分野が同じ者】 ・卒業論文の写し 【卒業論文の分野が異なる者・卒業論文を課されていない者】 ・卒業論文の代替となる論文（10,000字以内、A4判用紙）
人間科学研究科	人間社会科学専攻	臨床心理学分野	【卒業論文の分野が同じ者】 ①卒業論文に関わる提出書類(2-1)（所定用紙⑤-2） ②卒業論文の要旨（1,600字程度、A4判用紙2枚以内、任意の様式、参考文献は文字数に含めない） ※執筆者名（グループで書いている場合は他〇名と記載）、問題と目的、研究の意義、方法、結果と考察、引用文献で構成すること（調査の結果が出ていない場合には、途中経過を明示すること） 【卒業論文の分野が異なる者】 ①卒業論文に関わる提出書類(2-1)（所定用紙⑤-2） ②卒業論文がある場合にはそれについてまとめる（1,600字程度、A4判用紙2枚以内、任意の様式、参考文献は文字数に含めない） ※執筆者名（グループで書いている場合は他〇名と記載）、問題と目的、研究の意義、方法、結果と考察、引用文献で構成すること（調査の結果が出ていない場合には、途中経過を明示すること） 【卒業論文を課されていない者】 ①卒業論文に関わる提出書類(2-1)（所定用紙⑤-2） ②これまでに関心のある問題について研究をした内容を提出（1,600字程度、A4判用紙2枚以内、任意の様式、参考文献は文字数に含めない） ※執筆者名（グループで書いている場合は他〇名と記載）、問題と目的、研究の意義、方法、結果と考察、引用文献で構成すること（調査の結果が出ていない場合には、途中経過を明示すること）

（次ページに続く）

(前ページからの続き)

研究科	専攻	研究分野	提出書類
人間科学研究科	人間社会科学専攻	心理・コミュニケーション科学分野	<p>【卒業論文の分野が同じ者】</p> <p>①卒業論文の写し ②卒業論文に関わる提出書類(2-1) (所定用紙⑤-2) ③卒業論文に関わる提出書類(2-2) (所定用紙⑥-2) ④卒業論文の要旨 (1,600 字程度、A4 判・任意の様式、参考文献は文字数に含めない) ※③を表紙とし、まとめてホチキス止めをして提出すること</p> <p>【卒業論文の分野が異なる者・卒業論文を課されていない者】 ・卒業論文の代替となる論文 (10,000 字以内、A4 判用紙)</p>
		グローバル共生社会分野	<p>【卒業論文の分野が同じ者】</p> <p>①卒業論文の写し ②卒業論文に関わる提出書類(2-1) (所定用紙⑤-2) ③卒業論文に関わる提出書類(2-2) (所定用紙⑥-2) ④卒業論文の要旨 (1,600 字程度、A4 判・任意の様式、参考文献は文字数に含めない) ※③を表紙とし、まとめてホチキス止めをして提出すること</p> <p>【卒業論文の分野が異なる者・卒業論文を課されていない者】</p> <p>①卒業論文に関わる提出書類(2-1) (所定用紙⑤-2) ②卒業論文に関わる提出書類(2-2) (所定用紙⑥-2) ③卒業論文の要旨またはこれまでの研究活動に関する報告 (1,600 字程度、A4 判・任意の様式、参考文献は文字数に含めない) ※②を表紙とし、まとめてホチキス止めをして提出すること</p>

10. 入学検定料の納入

入学検定料は **35,000 円** です。

支払期間 2025 年 11 月 8 日 (土) ~ 11 月 14 日 (金)

- (1) 「入学検定料支払方法」(p.34~35)の説明に従って納入してください。日本国外からの支払はクレジットカードのみです。入学検定料の納入の際には、別途事務手数料が 440 円かかります。
- (2) 支払期間最終日は 23:30 まで Web からの申込が可能です。出願書類は出願締切日必着です。出願に間に合うように、余裕をもって支払いを行ってください。
- (3) Web からの申込の際、住所は志願票に記入した「書類送付先住所」を入力してください。受験票等の送付には、このデータを利用します。メールアドレスについても、志願票に記入したアドレスと同一のものを入力してください。なお、Web からの申込で入力した志望専攻・研究分野名と志願票に記入した専攻・研究分野名が異なる場合は、志願票に記入した専攻・研究分野名を優先します。
- (4) 支払完了後、Web からの申込をしたサイトに申込内容確認画面から再度ログインし、「入学検定料・選考料取扱明細書」を印刷し『収納証明書』を部分を切り取り、入学検定料収納証明書貼付票【所定用紙②】に貼付してください。本人保管用に「入学検定料・選考料取扱明細書」の PDF を保存するか、もう一枚印刷しておいてください。
 ただし、コンビニエンスストアおよび金融機関 ATM(Pay-easy)で支払った場合は、領収書(レシート)の原本を『収納証明書』に代えて提出することができます。領収書(レシート)の原本を入学検定料収納証明書貼付票【所定用紙②】に貼付してください。この場合は、本人保管用に領収書(レシート)のコピーをとっておいてください。

Ⅲ. 一般入学試験・社会人対象入学試験 共通事項

1. 受験票の交付

出願書類の受理が完了した者に対し、受験票を郵送します。

(日本国外から出願した場合には、志願票に記載のメールアドレス宛に送信します)

試験日1週間前までに届かない場合は、入学課大学院入試係へ問い合わせてください。

受験票を忘れた、もしくは紛失した場合は、入学試験当日、受付に申し出て受験票再発行の手続きをしてください。再発行には本人確認のため、写真付身分証明書(学生証、運転免許証、パスポート、在留カード)を提示していただきます。

2. 試験場

本学(試験室は、試験当日正門付近に掲示します)

3. 受験上の注意

- (1) 試験室は8時10分に開室します。筆答試験を実施する分野または専攻の受験生は8時50分までに試験室に入室して着席してください。
口述試験のみ実施する分野の受験生には受験票とともに集合時刻および口述試験開始予定時刻をお知らせします。
- (2) 筆答試験開始または口述試験開始予定時刻から30分以上遅刻した者は、すべての科目の受験資格を失います。
- (3) 受験票は必ず持参し、試験時間中は机の上に置いてください。筆答試験の試験室では机の上の座席番号と受験票の受験番号が同一であることを確認して着席してください。
- (4) 筆答試験の試験時間中に使用が認められるものは以下の通りです。

物品	注意事項
黒鉛筆	格言等が印刷されている鉛筆は使用できません。
シャープペンシル	黒芯のもののみ使用できます。
プラスチック製の消しゴム	
時計	試験室に時計はないので、必ず持参してください。 辞書・電卓・端末等の機能があるもの、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマーや学習タイマー、大型のものは使用できません。 携帯電話等電子機器類を時計として使用することはできません。時計の貸し出しは行っていません。
マスク、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー(袋又は箱から中身だけ取り出したもの)	

座布団、クッション、タオル、ひざ掛け、手袋(多汗症用を含む)、冷却ジェルシート、使い捨てカイロは監督者の指示に従って使用してください。いずれもなるべく無地のもので、文字や地図等がプリントされているものは避けてください。

- (5) 辞書の持込については、「7. 選考方法・試験科目・時間割」(一般入試 p.7~10、社会人対象入試 p.20~21)の指示に従ってください。電子辞書は使用できません。

(次ページに続く)

- (6) 「試験中に使用が認められるもの」以外は原則として使用を認めません。試験中は荷物の中にしまってください。机の上に置いてある場合や使用した場合は、不正行為とみなされることがあります。以下に試験中の使用が認められないものの一部を示します。

物品	注意事項
携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、電卓、イヤホン※、音楽プレーヤー等の電子機器類	アラーム設定を解除し電源を切り、荷物の中にしまってください。ポケットに入れるなどして身に付けていた場合、不正行為とみなされることがあります。 なお、イヤホンについては耳に装着していれば使用しているものとして不正行為となります。
カラーペン、下敷、筆箱（ペンケース）、耳栓※	
飲食物※	ペットボトル飲料、飴等を含みます。試験中は荷物の中にしまってください。
文字や地図等が印刷された衣服	着用していた場合、脱いでもらうことがあります。

※障がいや疾病等により受験上の合理的配慮を申請した方に対しては、使用を認めることがあります。

- (7) 試験時間中に日常的な生活騒音等（監督者の巡視による足音・監督業務上必要な打合せ、航空機・自動車・風雨・空調の音、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をすする音、携帯電話や時計等の短時間の鳴動など）が発生した場合でも、原則として特別な措置は行いません。
- (8) 試験時間中は退室を認めません。ただし、試験時間中にトイレ等やむを得ない場合には、手を挙げて試験監督者の指示に従ってください。その分の試験時間の延長はありません。

(9) 不正行為について

以下の行為は不正行為とみなされることがあります。不正行為があるとみなされた場合、当該年度における本学の全ての入学試験の受験を認めません。また、当該年度における本学の全ての入学試験の結果を無効とします。その際、入学検定料は返還しません。

- ①出願の際に本学に提出する書類・資料、提供する情報等に偽造・虚偽の記載・剽窃等を行うこと。
- ②カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）を行うこと。
- ③他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けを行うこと。
- ④試験時間中に、監督者の許可なく問題冊子、解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ⑤「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子等を開いたり解答を始めること。
- ⑥試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。
- ⑦「解答やめ。書くのを止めて鉛筆を置いてください。」の指示に従わず解答を続けたり、鉛筆や消しゴムを持っていたりすること。
- ⑧試験時間中に、携帯電話等の電子機器類や決められた文具以外のものをかばん等にしまわず、机の上に置いたり身に付けていること。
- ⑨試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ⑩試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出を行うこと。
- ⑪試験室において他の受験者の迷惑となる行為を行うこと。
- ⑫試験室において監督者等の指示に従わないこと。
- ⑬その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為を行うこと。

4. 合格者発表

一般入学試験 9 月期	2025 年 9 月 19 日（金）13 時	本学公式サイトに掲載
一般入学試験 1 月期 社会人対象入学試験	2026 年 1 月 30 日（金）10 時	

本学公式サイトに合格者の受験番号表を掲載します。掲載期間は、合格者発表日の発表時間から入学手続締切日の 17 時までです。合格者発表ページ <https://www.twcu.ac.jp/admission/>
合格者には、合格者発表と同時に合格通知と入学手続書類を入学試験志願票に記載された「書類送付先住所」に発送します。

合格したにもかかわらず合格者発表日の 2 日後になっても入学手続書類が到着しない場合は、下記の問い合わせ日時に入学課大学院入試係まで連絡してください。一般入学試験 1 月期、社会人対象入学試験の場合は、下記の問い合わせ日時に入学課大学院入試係までメールにて (admission@gr.twcu.ac.jp) 連絡してください。

指定の期日までに入学手続を完了しない場合は入学資格を失います。

入試方式	問い合わせ日時
一般入学試験 9 月期	2025 年 9 月 22 日（月）9 時～12 時
一般入学試験 1 月期 社会人対象入学試験	2026 年 2 月 2 日（月）9 時～12 時

5. 入学手続

入学手続は、所定の期間内に入学手続時納入金を納入し、指定の期日までに入学手続書類を提出することによって完了します。

入学手続方法については、合格者に交付される入学手続書類に従ってください。

出願時に本学に COE 交付の代理申請を依頼する書類 (p.16 参照) を提出している合格者は、一括納入手続をしていただきます。詳細は合格者に送付される入学手続書類に従ってください。

一般入学試験 9 月期	合格者は 2025 年 9 月 26 日（金）までに入学金相当額の入学申込金を納入し、その他入学手続時納入金を 2026 年 2 月 20 日（金）までに納入してください。 *納入期限日までに振込手続が完了したものを有効とします。
一般入学試験 1 月期 社会人対象入学試験	合格者は 2026 年 2 月 6 日（金）までに入学金相当額の入学申込金を納入し、その他入学手続時納入金を 2026 年 2 月 20 日（金）までに納入してください。 *納入期限日までに振込手続が完了したものを有効とします。
上記期日までに所定の手続を完了しない場合は、入学資格を失います。 入学申込金は手続が完了した時点で入学金に充当します。	

注) 入学金は理由の如何を問わず返還できません。

いったん納入した入学手続時納入金は p.31 の 7 項の場合を除き返還できません。

入学手続後、提出した書類の変更および返却はできません。

《入学関係書類の提出について》

入学に際して誓約書（p.31 参照）、保証書等の書類の提出が必要です。入学関係書類については、入学手続要項にてお知らせします。指定の期日までに提出してください。

2026 年度学費その他納入金

	他大学卒業者			本学卒業者		
	入学手続時納入額	後期納入額	年額	入学手続時納入額	後期納入額	年額
入学金 (入学年度のみ)	240,000円		240,000円	本学の修士課程・博士前期課程に在籍していた者 0円 本学学部および本学短期大学部に在籍していた者 120,000円		0円 120,000円
授業料	270,000円	270,000円	540,000円	270,000円	270,000円	540,000円
教育充実費	82,000円	82,000円	164,000円	82,000円	82,000円	164,000円
合 計	592,000円	352,000円	944,000円	本学の修士課程・博士前期課程に在籍していた者 352,000円 本学学部および本学短期大学部に在籍していた者 472,000円	352,000円	704,000円 824,000円

- * 学費は毎年改定することになっています。
- * 人間社会科学専攻臨床心理学分野は、以上の他に、実験実習料として、年額 45,000 円を後期納入額に加算します。
- * 人間社会科学専攻心理・コミュニケーション科学分野は以上の他に、実験実習料として、年額 30,000 円を後期納入額に加算します。
- * 人間社会科学専攻臨床心理学分野の学生は、上記の入学金・授業料・教育充実費および実験実習料の他に以下の臨床心理学実習料を納入する必要があります。
 - ・「臨床心理基礎実習 1」および「臨床心理基礎実習 2」（1 年必修科目）の履修のために、50,000 円（「臨床心理基礎実習 1」の履修登録時に納入）。
 - ・「臨床心理実習 1（心理実践実習Ⅲ）」および「臨床心理実習 2」（2 年必修科目）の履修のために、70,000 円（「臨床心理実習 1（心理実践実習Ⅲ）」の履修登録時に納入）。
 - ・「心理実践実習Ⅰ」および「心理実践実習Ⅱ」の履修のために 50,000 円（「心理実践実習Ⅰ」の履修登録時に納入）
- * 入学者に対し、学債を募集します。任意ですが、教育内容の充実をはかるためのものですから、なるべく応募してください。詳細については 2026 年 5 月にご案内いたします。
- * 東京女子大学学会は本学学生および教員を会員とする学術団体です。会費は 2 か年分 3,000 円です。1 年は後期に、2 年以降は前期に年額 1,500 円を学費と共に納入していただきます。詳細については入学手続完了者に送付する入学関係書類に同封する案内をご覧ください。

9. 奨学金

◇東京女子大学給付奨学金

学業成績優秀であり、経済的援助を必要とする本学大学院博士前期課程学生で、専攻分野における研究能力、高度の専門性が求められる職業を担うための卓越した能力を備えて活動することができる者と認められる者に対し、東京女子大学給付奨学金細則により、年間授業料相当額(参考：2025年度は54万円)またはその1/2相当額を選考の上、給付します。支給期間はいずれも1年間です。継続受給を希望する場合は毎年申請することになります。入学後に募集を行います。

◇江口裕子大学院奨学金

故江口裕子本学名誉教授の遺贈により設けられた奨学金で、学業成績優秀であり、かつ、経済的に援助を必要とする大学院生に年間授業料相当額(参考：2025年度は54万円)を選考の上、給付します。支給期間は1年間です。

◇東京女子大学研究奨学金

学業成績優秀であり、将来優秀な研究者または高度専門職業人として専門分野での活躍が期待される者に、国内外の学会・研究会等での発表に要する交通費、宿泊費及び学会参加費、海外での現地調査に要する交通費及び宿泊費、学会誌・学術誌への論文投稿費を審査の上、基準により給付します。(年間支給限度額 1人10万円まで)

◇東京女子大学大学院育児支援奨学金

研究と育児の両立支援のため、授業出席、研究、学会発表等による二次保育にかかる費用の一部を給付します。(1日につき1家庭1,700円まで、出願者1人年間5万円まで。)

◇東京女子大学国際交流奨学金

対 象：成績・人物ともに優秀であり、経済的援助を必要とする在留資格「留学」を有する外国人留学生
内 容：学費相当額以内を奨学金として給付
出願時期：入学前に出願、締切日は入学試験出願締切と同じ
選考方法：書類審査
結果通知：1月下旬(1月期受験者は合格通知と同時に通知)
支給方法：入学時納入金納入時および後期学費納入時に納入金から差し引きます。

◇授業料減免制度

対 象：成績・人物ともに優秀であり、経済的援助を必要とする在留資格「留学」を有する外国人留学生(上記の東京女子大学国際交流奨学金受給者を除く)
内 容：授業料の一部を減免
出願時期：入学後出願
選考方法：書類・面接選考および入学後の成績(成績基準あり)
結果通知：6月上旬
支給方法：入学後後期学費納入時に納入金から差し引きます。

(次のページへ続く)

◇日本学生支援機構奨学金

人物・学業ともに優れ、経済的理由により修学困難な学生に、学資を貸与することで教育の機会均等に寄与し、次代を担う人材の育成を目的とする独立行政法人日本学生支援機構の貸与奨学金制度です。貸与期間は修了までの標準修業年限で、貸与月額は下記の通りです。

入学後に募集を行います。

(参考：2025 年度)

第一種奨学金（無利子貸与） ※「特に優れた業績による返還免除」制度あり

貸与月額 5万・8万8千円から各自選択

第二種奨学金（有利子貸与）

貸与月額 5万・8万・10万・13万・15万円から各自選択

◇学外奨学金

地方自治体や民間団体の設ける奨学金です。大学を通じて募集を行うものについては、募集要項を学内の奨学金掲示板および奨学金特設サイトでお知らせします。募集は主に入学後となります。

10. 長期履修制度

学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限（2年）を超えて一定の期間にわたり、計画的に教育課程を履修し課程を修了することを希望した場合に、履修期間を3年または4年とすることができる制度です。

長期履修制度の適用が認められた者の学費は、一般学生と異なり、標準修業年限2年分の学費の総額を認められた長期履修期間で除した年額を納入することになります。本学で長期履修学生と認められる資格は、以下に該当する者です。

(1) 職業を有する者

ア 官公庁・企業等に常勤として在職している者（給与の支給を受け、職務を免除されている者を除く）や自ら事業を行っている者

イ 非常勤職の者（パートタイム等も含む）で週あたりの就労時間が原則として20時間以上の者

(2) 育児・長期介護に従事している者

ア 未就学児を養育している者

イ 要介護者を介護している者。この場合において、要介護者の範囲は、配偶者、父母、子、配偶者の父母、申請者と同居している祖父母または兄弟姉妹、およびその他本学が認めた者とする。

長期履修制度の適用を希望する者は、出願時に申請してください。（やむを得ない場合を除いて、入学後の申請は原則としてできません。）申請書類は出願書類に同封してください。

申請適用の可否については、合格者発表と同時に合格者に郵送で通知します。

なお、長期履修制度は、原則として外国人留学生（入学後在留資格「留学」を有する予定の者）には適用できません。

申請書類のご請求・制度に関する質問は、出願期間の1か月前までに学務課大学院係までご連絡ください。

問合せ先：東京女子大学 学務課大学院係 平日9:00～17:00（11:25～12:25を除く）

〒167-8585 東京都杉並区善福寺2-6-1

電話 03-5382-6279

Email graduate@gr.twcu.ac.jp

2026年度 東京女子大学 入学検定料支払方法

コンビニ（セブン-イレブン・ローソン・ミニストップ・ファミリーマート・セイコーマート・デイリーヤマザキ）、クレジットカード、金融機関ATM、ネットバンキングを利用して24時間いつでも支払が可能です。

1 Webから申し込み

以下のURLにアクセスし、一覧から本学を選択後、画面の指示に従って申込みに必要な事項を入力してください。

<https://www3.univ-jp.com/>

本学公式サイトからもアクセスできます。



2 申込内容の確認

受付番号（受験番号ではありません）とお支払いに必要な番号が表示されるのでメモするか画面を印刷してください。なお、個人情報入力画面で入力したメールアドレスとパスワードは収納証明書を表示するときに利用します。

3 お支払い

お支払いは、次頁のいずれかの方法で行ってください。

<注意>

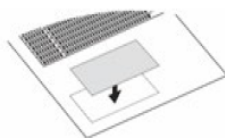
- 出願期間を入学試験要項でご確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕を持ってお支払いください。
- コンビニエンスストアでのお支払いの場合、出願締切日の「Webサイトでの申込み」、店舗端末機の操作はともに23:30までです。クレジットカードおよびネットバンキングでのお支払いの場合、Webサイトでの申込みと同時に支払いが完了します。23:30までにお手続きください。
- カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。
- 一度お支払いされた入学検定料は、返金できません。

4 出願書類への収納証明書貼付

お支払完了後、上述のURLにアクセスしてください。申込内容確認画面から再度ログインし、「入学検定料・選考料取扱明細書」を印刷してください。「収納証明書」部分を切り取り入学検定料収納証明書貼付票の所定の位置に貼付し、必要書類と共に郵送してください。



①必要な部分を切り取り



②出願書類の所定の場所へ貼付する

<注意>

- 収納証明書を印刷しますので、プリンタのある環境で申込内容照会を行ってください。
- コンビニエンスストアおよび金融機関ATM（Pay-easy）利用の場合は、領収書（レシート）の原本を収納証明書に代えて提出することができます。詳しくは次頁を確認してください。
- クレジットカードおよびネットバンキング利用の場合は、必ず収納証明書を出力し、提出してください。

事務手数料が別途かかります。詳しくはWebサイトをご確認ください。

「入学検定料納入」についてのお問い合わせは、コンビニ店頭ではお答えできません。詳しくはWebサイトをご確認ください。

<https://www3.univ-jp.com/>

2026年度 東京女子大学 入学検定料支払方法

お支払い方法

お支払いは、以下のいずれかの方法で行ってください。

コンビニエンスストア (30万円未満のお支払い)					クレジットカード
セブンイレブン 	ローソン ミニストップ (Loppi) 	ファミリーマート (マルチコピー機)  	セイコーマート 	デイリーヤマザキ 	
レジにて「インターネット支払い」と店員に伝え、プリントアウトした【払込票】を渡すか、【払込票番号】を伝えお支払ください。 ※プリントしなかった場合は、番号を伝えるのみでOKです。 マルチコピー機は使用しません	各種サービスメニュー 各種代金・インターネット受付・スマートビットのお支払い 各種代金お支払い マルチペイメントサービス 「お客様番号」を入力 「確認番号」を入力	代金支払い/チャージ (コンビニでお支払い Payment/Charge) 番号入力画面に進む 「お客様番号」を入力 「確認番号」を入力 注意事項を確認	レジで店員に「インターネット支払い」と伝える	レジで店員に「オンライン決済」と伝える	本人確認のため、クレジットカードに記載されている情報を入力しますので、支払前にクレジットカードを準備してください。 支払い方法は一括払いのみです。 クレジットカードの利用限度額を確認した上で利用してください。
出願情報が正しければ「確認」「印刷」ボタンを押す 端末より申込券が出るので30分以内にレジにて入学検定料を現金にて支払う			「オンライン決済番号」を入力		レジにて入学検定料を現金にて支払う
金融機関ATM【Pay-easy】			ネットバンキング		
以下の金融機関でPay-easyマークの付いているATMでお支払いができます。 1回のお申込みにつき、現金では10万円未満、キャッシュカードでは100万円未満のお支払いが可能です。 (利用可能な金融機関の一例) ・ゆうちょ銀行 ・みずほ銀行 ・りそな銀行/埼玉りそな銀行 ■支払い可能金融機関は下記ページの「ATM利用可能一覧」を確認してください。 https://multiple-payment.biz/pages/financial-institution-list.html 			都市銀行、地方銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫、農協、漁協などのネットバンキングを利用することができます。事前に金融機関にて申し込みが必要です。 また、楽天銀行、PayPay銀行、auじぶん銀行、住信SBIネット銀行でも支払うことができます。事前に金融機関にて口座の開設が必要です。 		
「税金・料金払込み」又は「Pay-easy」を選択			お支払いおよび申込内容のご確認画面を開く		
「収納機関番号」「お客様番号」「確認番号」を入力			[ネットバンキングでの支払に進む]ボタンを押す		
現金またはキャッシュカードを選択して、入学検定料を支払う			ネットバンキングの契約をしている金融機関を選択し、ログインする		

お支払い可能なコンビニエンスストア・金融機関は変更する場合があります。詳しくはWebサイトをご確認ください。

★コンビニエンスストアおよび金融機関ATM (Pay-easy) 利用時の収納証明書貼付について

以下のとおり、領収書(レシート)の原本を収納証明書に代えて提出することができます。
各店舗の領収書(レシート)原本を入学検定料収納証明書貼付票の所定の位置に貼付してください。

- ・セブンイレブン「インターネット決済」払込領収書[お客様控]
- ・ローソン、ミニストップ「各種代金お支払い」取扱明細書兼領収書(お客様控)
- ・ファミリーマート「取扱明細兼領収書(お客様控え)」
- ・デイリーヤマザキ「オンライン決済領収書」
- ・セイコーマート「領収書」
- ・金融機関ATM(Pay-easy)「ご利用明細票」

<注意>

- レジでのお支払い時に、領収書(レシート)を必ずお受け取りください。
- 必ず原本をお送りください。送付前に本人保管用に、各自で領収書(レシート)のコピーをとっておいてください。

事務手数料が別途かかります。詳しくはWebサイトをご確認ください。

「入学検定料納入」についてのお問い合わせは、コンビニ店頭ではお答えできません。詳しくはWebサイトをご確認ください。

<https://www3.univ-jp.com/>

アクセス Access



西荻窪駅から

(JR中央線、JR中央・総武線、東京メトロ東西線)

- 北口より徒歩12分
- 北口(1番のりば)より吉祥寺駅北口行バスで「東京女子大前」下車
※特別快速・通勤快速は西荻窪駅には停車しません。土・日・祝日には中央線快速は西荻窪駅には停車しません。中央・総武線各駅停車または東西線をご利用ください。

吉祥寺駅から

(JR中央線、JR中央・総武線、京王井の頭線)

- 北口(3番のりば)より西荻窪駅行バスまたは上石神井駅行バスで「東京女子大前」下車
※吉祥寺駅からタクシーを利用する場合は、「杉並区善福寺の東京女子大学」と、はっきり指示してください。

上石神井駅から (西武新宿線)

- 南口(1番のりば)より西荻窪駅行バスで「地藏坂上」下車、徒歩5分
- 南口(1番のりば)より吉祥寺駅行バスで「東京女子大前」下車



◀ 公式サイトアクセスページ

最寄り駅へのご案内(平日)

※所要時間はおおよその目安です。



[主な駅からの所要時間]

